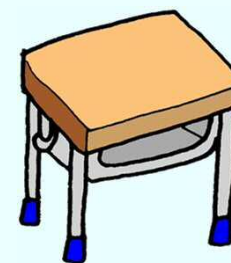




細 入 地 域



市立小・中学校の
将来のあり方について

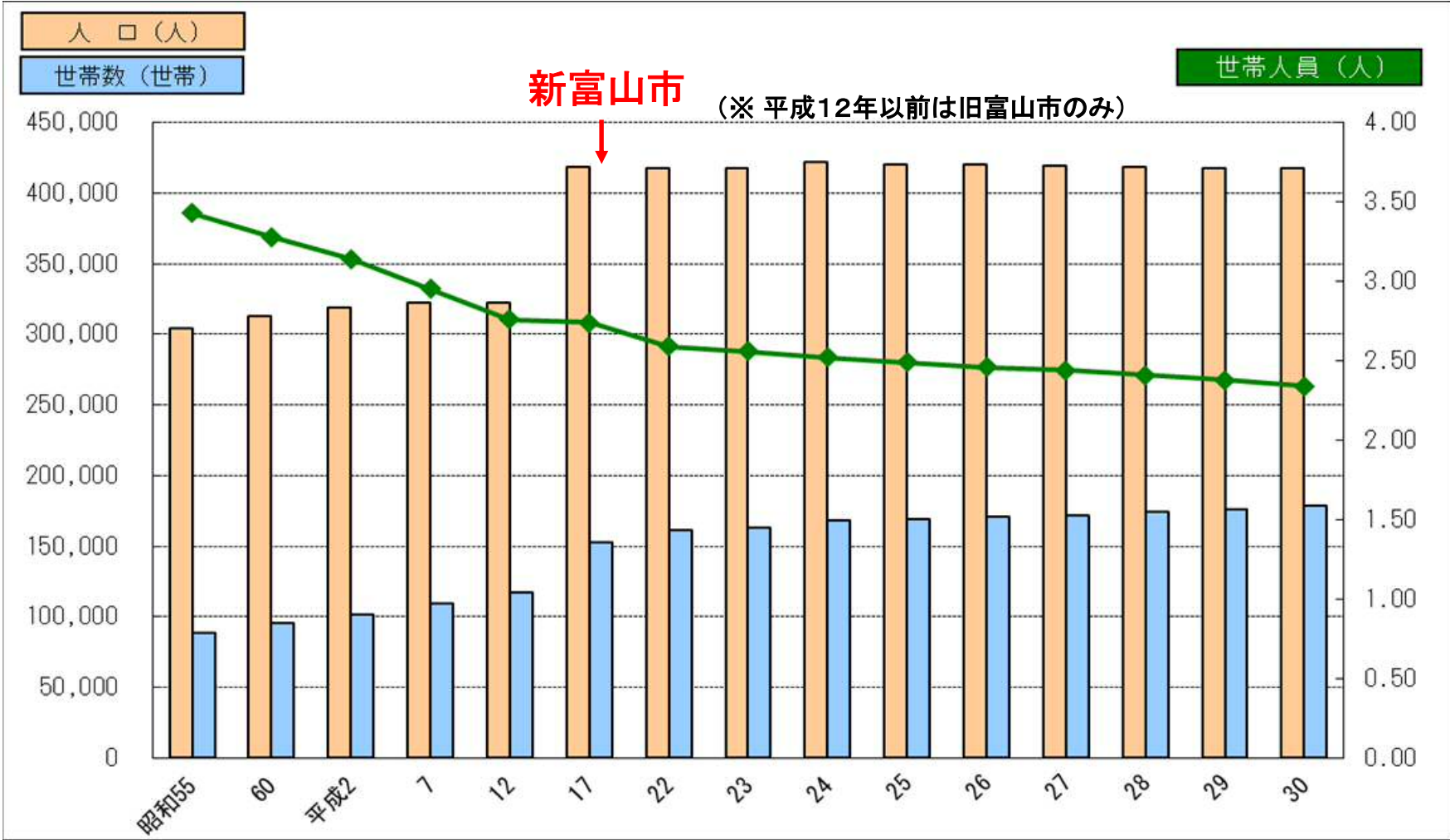


富山市教育委員会

1 富山市全体の状況

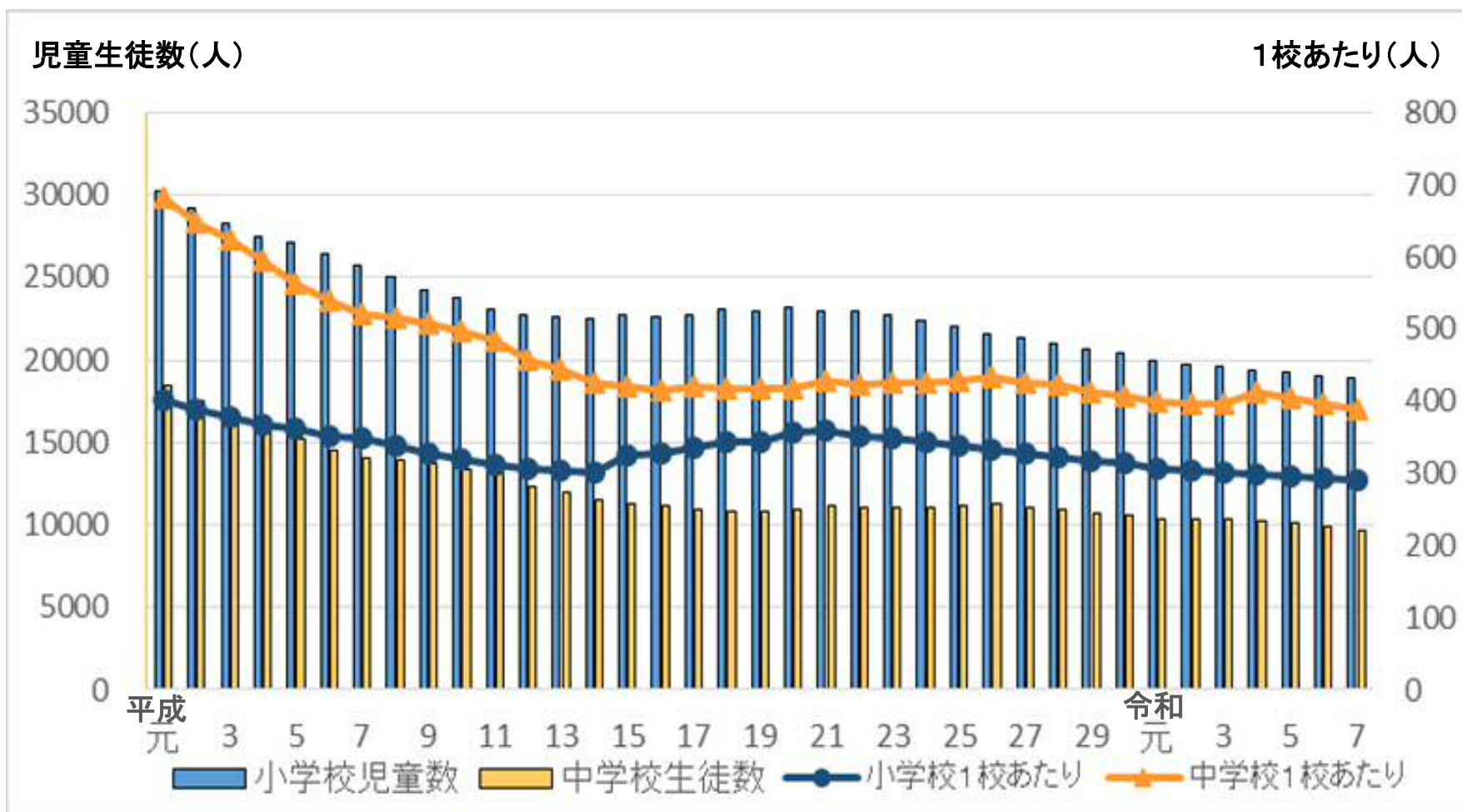
(1) 人口・世帯数の推移

※ 各年9月末



1 富山市全体の状況

(2) 市立小・中学校の児童生徒数の推移



1 富山市全体の状況

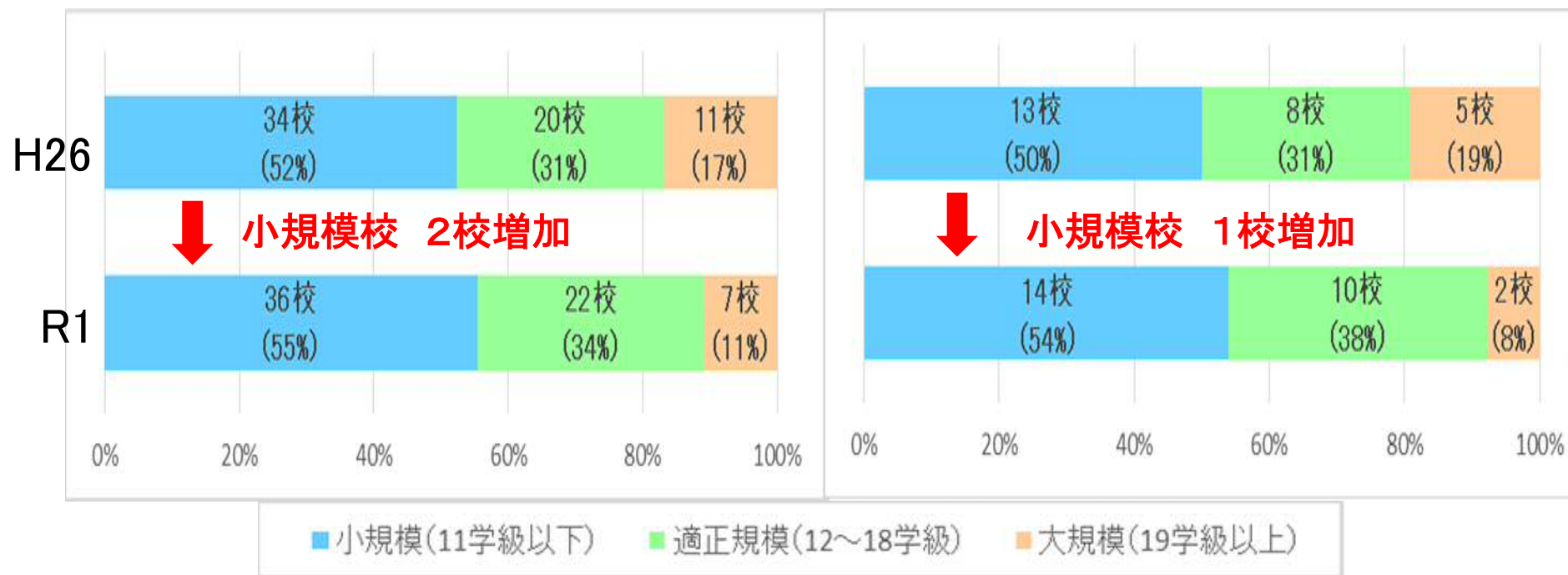
(3) 市立小・中学校の学校規模

標準（適正規模）：1校あたり 12～18学級

(※学校教育法施行規則)

小学校

中学校



↓ 小規模校 2校増加

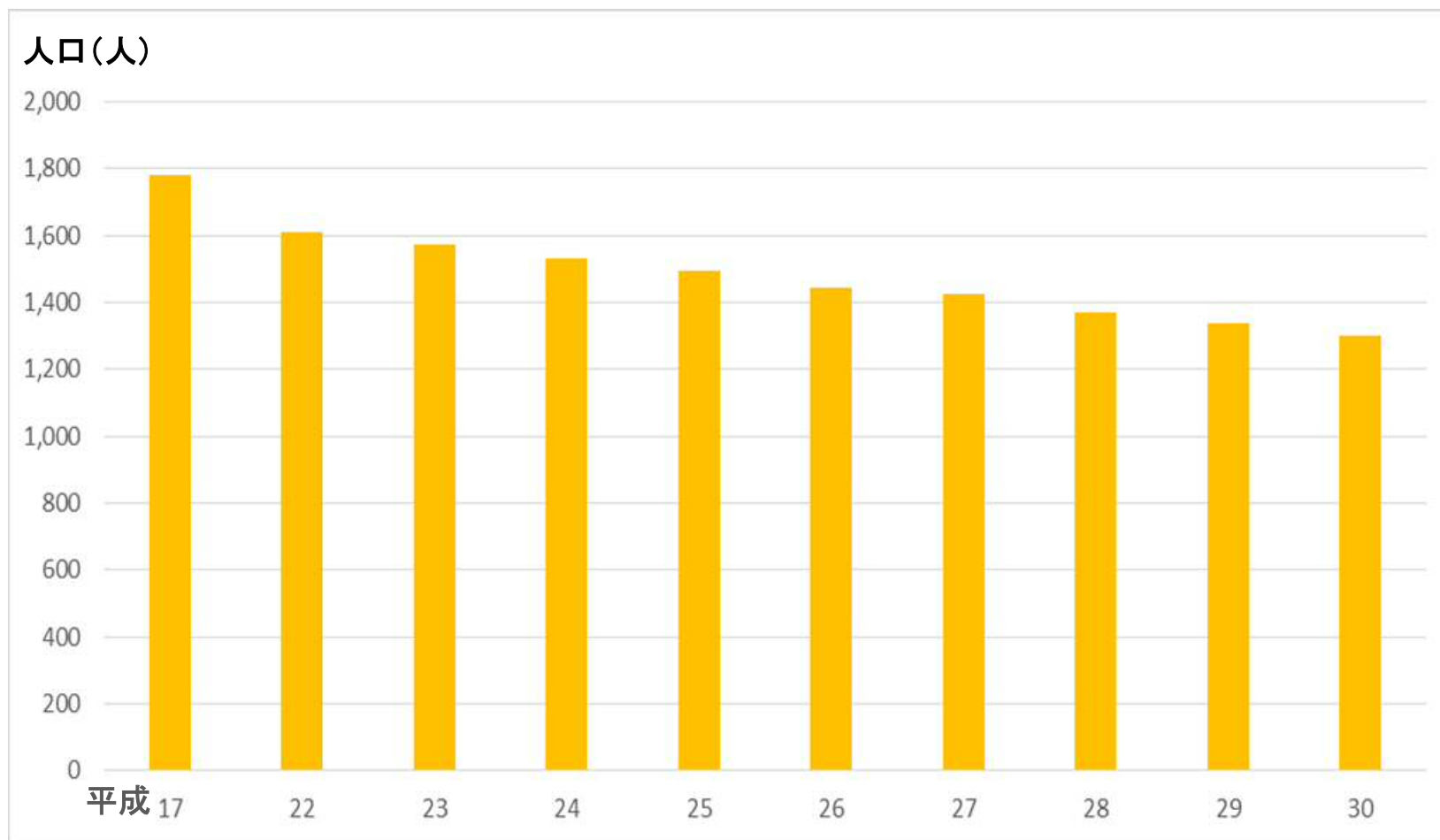
↓ 小規模校 1校増加

市立小・中学校の5割以上が小規模校

2 細入地域の状況

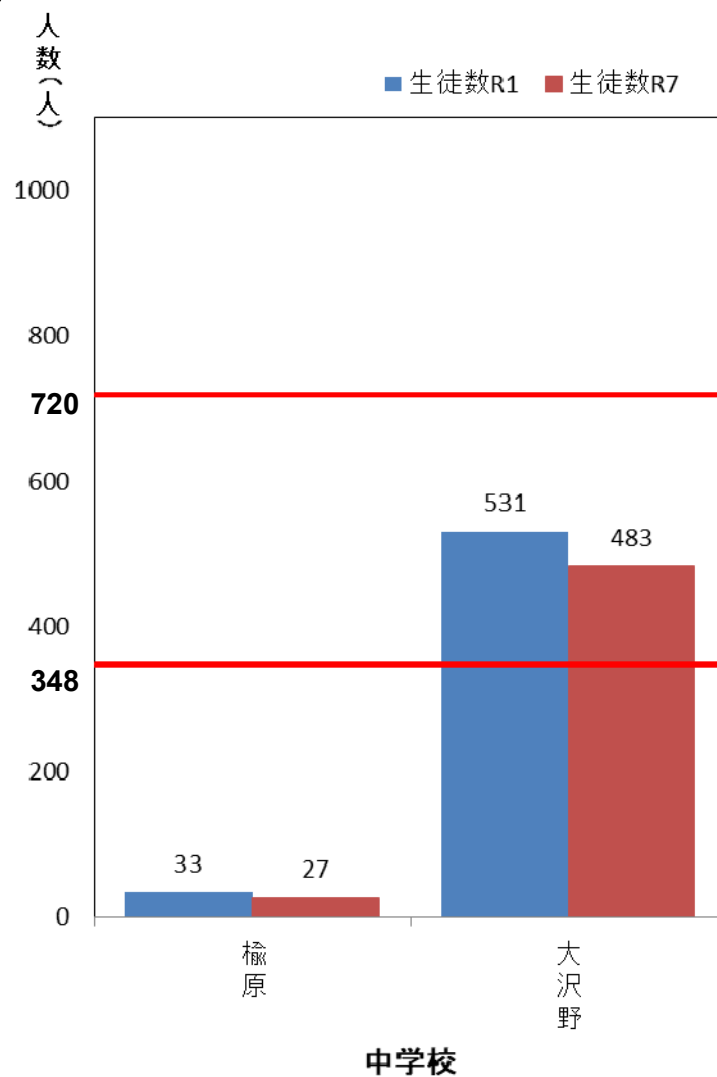
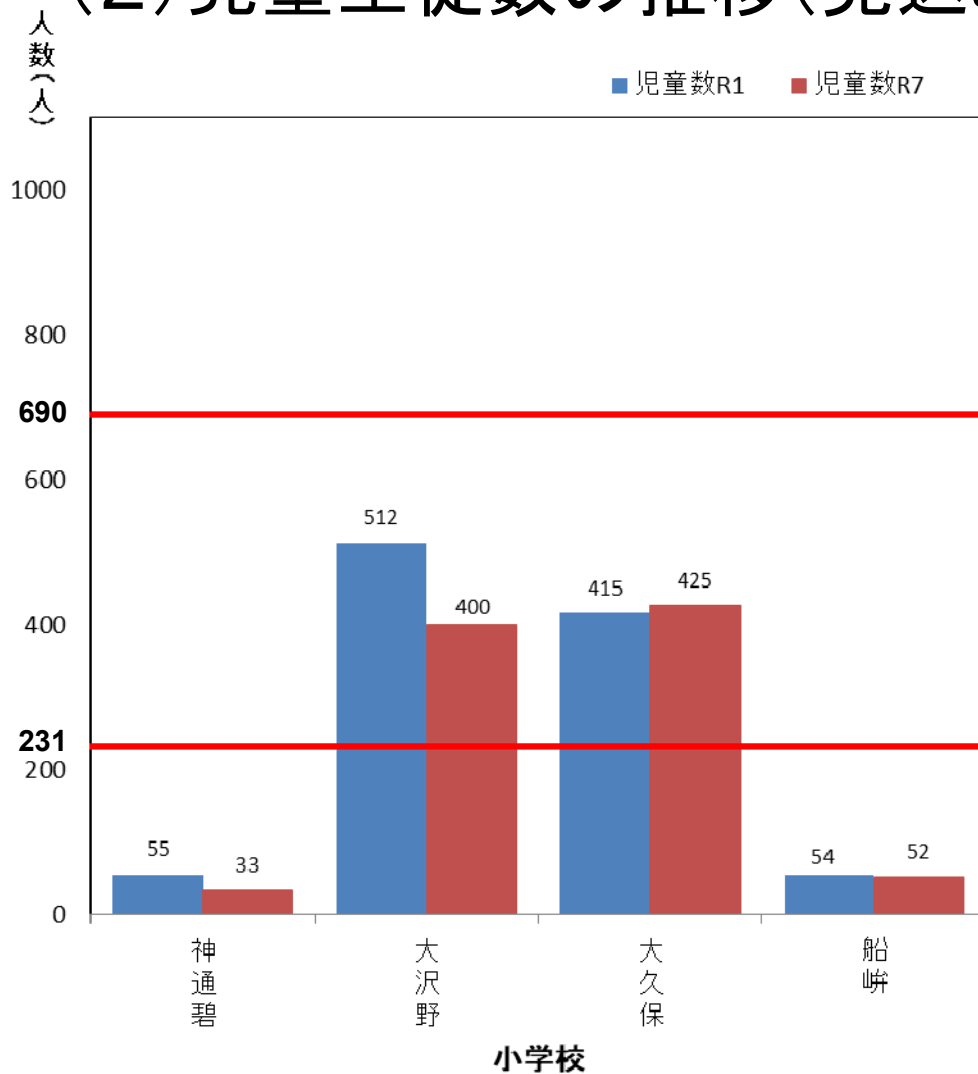
(1) 人口の推移

※ 各年9月末



2 細入地域の状況

(2) 児童生徒数の推移(見込み)



2 細入地域の状況

(3) 学校規模の推移(見込み)

神通碧小学校

児童数(人)

複式学級

| | 学級数 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 4年生 | 5年生 | 6年生 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| R 1 | 6 | 6 | 10 | 13 | 10 | 9 | 7 | 55 |
| R 7 | 4 | 6 | 4 | 4 | 5 | 10 | 4 | 33 |

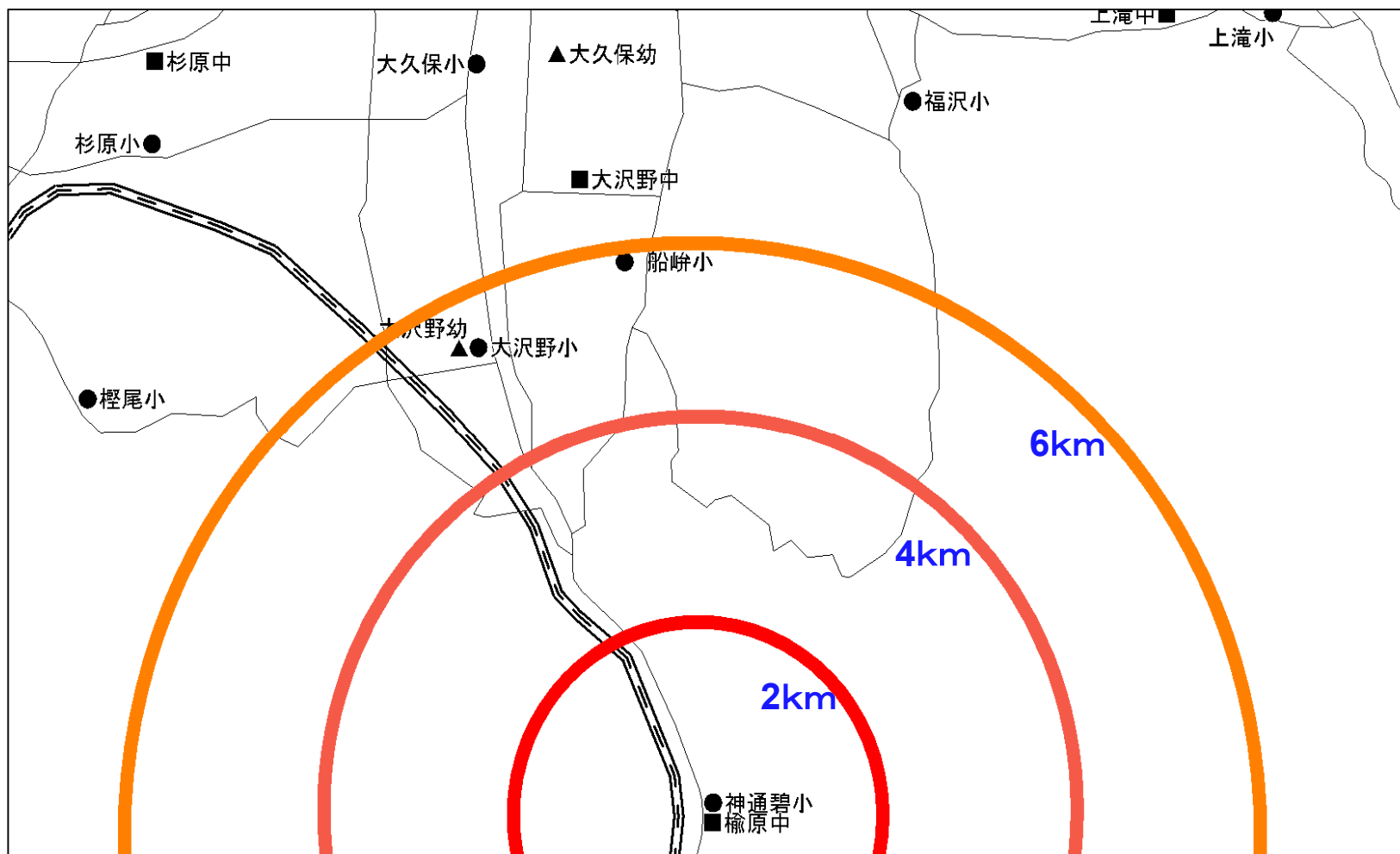
楡原中学校

生徒数(人)

| | 学級数 | 1年生 | 2年生 | 3年生 | 合計 |
|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| R 1 | 3 | 16 | 13 | 4 | 33 |
| R 7 | 3 | 6 | 9 | 12 | 27 |

2 細入地域の状況

(4) 学校の位置



2 細入地域の状況

(5) 学校の沿革(建物状況)

神通碧小学校

H15.4 榆原小学校と猪谷小学校が統合

→ 細入村大沢野町学校組合立神通碧小学校開校

H17.4 富山市立神通碧小学校に(市町村合併)

H22.1 校舎移転改築(竣工)

榆原中学校

H17.4 富山市立榆原中学校に(市町村合併)

H20.4 大規模改修後、新校舎にて学習開始

小・中学校併設型校舎にて現在に至る

3 小規模校における教育

(1) 小規模校のよさ

- 一人ひとりの子どもに対して、きめ細かな指導ができる。
- 学校行事で子どもたちの活躍の場が多い。
- 他学年や地域の方と交流活動がしやすく、親交を深められる

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小・中学校共通

- クラス替えがないため、多様な考えに触れる機会や、社会性や規範意識を身につける機会が得られにくい。
- 体育のバスケットボール等の団体競技や音楽の合唱等が行いにくい。
- 経験年数、専門性、男女比など、教員をバランスよく配置できない。

3 小規模校における教育

(2) 小規模校の課題

小学校

- 複式学級となる場合には、教員が複数学年分の指導準備を行うこととなり、各学年へのきめ細かい指導が行いにくい。
- 教務主任が学級担任を兼務するなど、一人の教員にかかる負担が大きくなる。

中学校

- 9教科10科目すべての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行わなくてはならない。
※ 教科担当教員の配置 1校3学級→6人
⇒ 9教科10科目の対応が難しい
- 開設できる部活動の数に制約が生じる。

4 適正規模、適正配置に向けた取り組み

(1) 小規模校

- ① 学校の統合
- ② 学校選択制の導入
- ③ 小規模特認校制
- ④ 通学区域の見直し

(2) 大規模校

- ① 学校の分離
- ② 施設の増築
- ③ 通学区域の見直し

5 学校規模に起因する デメリット緩和に向けた手段

(1) 小規模校

- ① 教員の加配置や複数校兼務
- ② 小中一貫教育、義務教育学校
- ③ ICT機器の活用

(2) 大規模校

- ① 教員の加配置

おわりに



児童生徒数の減少に伴い、学校の統廃合は将来的に避けて通れない大きな課題です。

学校の標準規模化を図るなど、次代を担う子どもたちにとって、地域・保護者・教育委員会が一体となって、よりよい教育環境となるよう考えていく必要があります。

